

西暦 2026 年 7 月 1 日 第 1 版

臨床研究に関する公開情報

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画や方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。研究に参加されない場合にも、いかなる診療上の不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】

「食事・摂食介助」場面における言語聴覚士と看護師のコミュニケーションエラーに起因したインシデント※を削減するための改善策の効果検証

※インシデント：医療の過程において、エラーが発生したが、あるいは発生しかけたが、患者さんに障害を及ぼすことなく、医療事故に至らなかったものです。「ヒヤリ・ハット」ともいいます。加えて、アクシデントは防止可能なものか、過失によるものかに関わらず、医療に関わる場所で、医療の過程において、不適切な医療行為が、結果として患者さんへ意図しない傷害を生じ、その経過が一定程度以上の影響を与えたものです。当院のインシデントレポートはアクシデントの報告も包含しています。

【研究責任者】

医療技術局 栄養サポート室 副主任 言語聴覚士 田積匡平

【研究の背景】

2025 年度に言語聴覚士が報告した摂食嚥下関連業務のインシデントを解析したところ、「言語聴覚士が直接嚥下訓練で使用予定の食事を看護師が誤って介助した」「直接嚥下訓練実施前のインスリン投与忘れ」など言語聴覚士と看護師のコミュニケーションエラーが起因となったインシデントが 20 件近く報告されていました。そこで、看護局と協働し、インシデントを削減するための改善策を検討し、2026 年 4 月から新たな運用方法を開始しています。本研究では新たな運用方法の効果について検証します。インシデントを削減することができれば、誤嚥しやすい摂食嚥下障害患者さんに対して、より安全に摂食嚥下リハビリテーションを実施できるようになると考えます。

【研究の目的】

「食事・摂食介助」場面における言語聴覚士と看護師のコミュニケーションエラーに起因したインシデントを削減するための改善策の効果について検証すること。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2025 年 4 月から 2026 年 6 月までの間に言語聴覚士が報告した摂食嚥下関連業務のインシデントレポートの対象となった方

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

●利用する情報

インシデントレポート報告件数、事例レベルの内訳、インシデントレポートの報告内容

●情報の管理

情報は個人が判別できる情報は削除したうえで外部とのインターネット接続ができないパソコン上に保管し、研究責任者である田積匡平が集計し、解析を行います。

【研究についての情報公開】

この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産などは、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【個人情報の取扱い】

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、ご住所など、患者さんを特定できる情報は全て削除します。情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は病院外の学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

【問い合わせ先】

岡崎市民病院

〒444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合 3 番地 1

医療技術局 栄養サポート室 副主任 田積匡平

電話：0564-21-8111